

東京・関西地区講習交流会

11月からのNPO法人として本格的な活動を開始の一つの大好きな事業として、東京地区・講習交流会を実施しました。この交流会は、全奏協の会員だけでなく非会員も広く参加していただき、日常邦楽合奏で直面するさまざまなトピックについて講習するとともに、流派を超えて邦楽合奏の愛好家の相互交流をはかるものです。

交流会は、平成24年1月9日(月・祝日)午後1:30~4:30(参加料無料)に「すみだ産業会館会議室」で開催され、午後5:00より懇親会をいたしました。

会員19名、非会員15名、顧問4名の合計38名と多くの方の参加をい

ただきました。

交流会は、冒頭に理事長の藤本玲より全奏協の活動のご紹介、そして今年9月に予定されている国民文化祭でのイベントの紹介から始まり、続いて田中隆文理事のコーディネートによる2つのパネルディスカッションを実施しました。そして最後に邦樂者のためのIT活用術という講義を実施しました。

また、平成24年2月18日(土)午後5:30~7:30分まで大阪市立中央公民館で約30名の参加者により、関西地区講習交流会が開催されました。その後、簡単な懇親会がもたれました。東京からは本会顧問の高橋明邦氏も参加いた



先駆的な取り組みの発表

ただきました。

大阪音楽大学講師、本会顧問、そして尺八演奏家の星田一山氏が「五線譜に親しもう」と題して、箏の谷垣千鶴氏が「インターネット活用術」について公演がありました(2~3ページに関連記事)。

若林宏志(櫻樹)氏の感想

若い力で邦楽会を 盛り上げよう！

今回、参加して一番良かったと思ったことは、普段は全く異なる別々の場所で活動している方々の話が聴けて、交流できましたこと。これに尽きると思います。

いろいろな人の話を聞くのはとにかく楽しいし、これから活動の参考にもなります。特に、曲の委嘱についての話はなかなか聞くことができない話題ですので、一番興味深く聴かせていただきました。

今後も、全奏協を通じてさらに多くの方と交流できると嬉しいです。

ただ、今回は、学生や若者層といった年代の方が非常に少なかったのが残念かなと思いました。

地域や団体、流派を超えることはもちろんのこと、年齢の壁も超えて、もっと若い人達を取り込むことができる嬉しいです。若者(特に学生)は、同年代同士のみで交流する傾向が強く、なかなか人生の先輩方、邦楽界の先輩方と交流する場や機会がありません。これでは、せっかく皆様がやってきた素晴らしい活動を次世代に繋げることができず、非常に勿体ないです。是非とも、今後力を入れていって頂きたい点だと考えています。

私はそういう場を作るのを活動目標のひとつとしていますので、全奏協とも協力しながら、若い力で、邦楽の世界を盛り上げていければ良いなと思いました。



田中隆文理事司会でのパネルディスカッション

ごあいさつ

「春 うらら…」なんて可愛い言葉でしょう！やっと春の息吹が日ごとに増してきました。皆様、お元気でいらっしゃいますか？

日頃は全奏協にご協力いただきまして有難うございます。全奏協も7月3日の立上げ総会から早9ヶ月を迎えるのですが、毎日バタバタとあわただしい日々を送っています。夢であった全奏協は立ち上りましたが、まだ赤ん坊失敗しながら理事や事務方の皆さんに助けていただき頑張っています。

さて、今年は徳島で文化庁主催の国文祭という大きな行事があり、「全国邦楽合奏協会の誕生公演」を開催できるようになりました。ものすごい幸運と喜んでいます。皆さん徳島にいらして下さい！一緒に演奏しましょう！交流しましょう！私達の手で邦楽合奏フェスティバルを成功させましょう。是非よろしくお願い致します。

桜の咲く頃には、皆様からのうれしいご参加の申込みが届いていると信じております。では9月14日(金)から16日(日)にお会いしましょう。16日(日)7時半からは交流会、翌日は祝日ですので飲みすぎても大丈夫です。お待ちしております。

理事長 藤本 玲



主な記事

- 2ページ 東京交流会(詳細) 神奈川助成事業
- 3ページ 大阪交流会(詳細) 高知助成事業
- 4ページ 全国邦楽合奏フェスティバル

神奈川助成事業

神奈川邦楽合奏団第3回定期演奏会と舞台公演

神奈川邦楽合奏団第三回定期演奏会が12月18日、横浜みどりホールで実施され、お箏にさわったことがないジュニアを夏休みに募集し、教育し、定演の舞台で団員とジュニアが共演しました。ジュニア28名が参加し(29名の所リハーサル中に1名緊張のあまりか、体調を崩し出演は出来ませんでした)、石井由希子作曲「ジュニアの嵐☆Happyness」を演奏しました。その演奏は好評を博し、ジュニア達は来年も是非出たいと言っています。

た。また親たちへのアンケートに依れば、お箏という身近にない楽器を体验し、舞台に上がるというめったに出来ない経験出来たことへの感謝の声が多く寄せられました。

会場はジュニア・ジュニアの親たちおよそ130人と一般客で440名の客席がほぼ満員の盛況となりました。



みなと未来ホールでの演奏会に向けての練習

東京講習交流会(詳細)

東京講習交流会では田中隆文理事のコーディネートによる2つのパネルディスカッション(PD)を実施しました。そして最後に邦楽者のためのIT活用術という講義を実施しました。

ひとつは、「邦楽合奏の愛好家にはとても興味の深い「邦楽普及への演奏会の取り組みについて」というテーマで、神奈川邦楽合奏団堀氏からは子供とのコラボレーションによる取り組み、こうべ邦楽ワークショップの名村氏による神戸の学校公演の取り組み、そして、Marioアンサンブルの小林氏より情熱コンサートの取り組みについて話がありました。

各氏の先駆的取り組みと工夫を多く紹介していただきました。今後の演奏会の取り組みに対して大変参考になる内

容で、参加者や顧問の方々から熱心な質問が相次ぎました

ふたつめは、「邦楽曲の委嘱」のテーマで、邦楽合奏団などか三本氏および、邦楽合奏団織座の立花より各合奏団での委嘱曲(下に曲名等記載)の取り組みの紹介がなされました



立ち席? もてる様な盛況の懇親会

神戸の学校公演

- プログラム
- ・「さんぽ(となりのトロ)」
- ・「鹿の遠音」尺八
- ・「春の海」箏
- ・「芽生え」二十絃~現代曲
- ・「尾上の松」三絃~三曲合奏
- ・「祇園精舎」琵琶
- ・「かがり田楽」笛&打楽器
- ・「アンサンブル「日本の四季」
- ・大合奏「冬の一日part2」
- ・全部で1時間の演奏会です

小学校合同文化鑑賞会プログラム

東京講習交流会で紹介された兵庫県の取り組みを紹介します。

兵庫教育協会主催で小学校合同文化鑑賞会を2011年11月28日に神戸文化ホールで行いました。神戸では子ども向きの演奏会も少なくこの協会の学校公演で純邦楽が取り入れられたのは今回が初めて。ねらいは子ども達に生の和楽器の音を聴いてもらい、邦楽に対する知識を持つもらうことです。

総予算は百万円。この会のためだけに箏、三絃、尺八、笛、打楽器、琵琶の『未来邦楽アンサンブル』を結成。子どもたちを飽きさせないよう進行はテンポ良く、ひな壇をおくなど「和」を演出しました。舞台演出に

た。作曲家の川崎絵都夫氏が議論に加わり、委嘱する立場と依頼をうける立場の両方からの視点の議論ができ実りのあるPDとなりました。

また、邦楽者のためのネット活用の講義は、PDが長引き短い講義となりましたが、若林氏の邦楽Wikiの紹介など新しい取り組みが紹介され、全国的な交流に果たすネットの役割の重要性を再認識することができました。

3時間の議論の後は、多くの方が懇親会に参加し、定員オーバーの超過密状態での中で楽しい会となりました。

普段演奏会には慣れていても、このような講習会の経験が少なく、スタッフ一同汗だくのなかでの交流会となりましたが、多くの方に参加していただき、全奏協の第一歩を動き出した実感を感じられる一日となりました。

(理事 立花茂生)

凝って費用がかかり過ぎました。費用を抑えて学校ごとの公演を行なうことが課題です。

協会や学校の先生方から「邦楽が身近になった、楽しかった」と高い評価をいただきました。

(こうべ邦楽ワークショップ
代表 名村茂代)

織座の委嘱作品

- ・花織(はなおり) 川崎絵都夫作曲
- ・遊鼓風笛(ゆうこふうてき) 安達元彦作曲
- ・水と火のまつり 長沢勝俊作曲
- ・環(かん) 秋岸寛久作曲
- ・織音組曲(おりおんくみきょく) 佐藤容子作曲

全奏協通信

NPO法人全国邦楽合奏団協会(全奏協)

はじめて弾く琴～さくら～ 箏(こと)体験教室

11月6日、高知市春野町で表題の体験事業が15人の参加者で開催されました。当日は町内的一斉清掃と重なっていたため、参加者は少なめでしたが内容のあるワークショップとなりました。

自転車で遠方から参加した、20歳代の男性は、「普段体験のできない箏を演奏できて大変ためになりました。これからも、続けていきたいと思います」と感想を述べて

いました。

また、60歳代の女性は「我流で箏を弾いていたけれど、弾き方の基礎を習えて、大変ためになりました」と言っていました。

まだまだ、箏など邦楽器は馴染みの薄い楽器だなど実感したと同時に、息の長い普及活動の大切さを感じました。

(邦楽をたのしむ会

代表 高橋郁子)



高知講習会。高知市春野町南ヶ丘公民館で

関西地区講習交流会

初めに、本会顧問の星田一山氏が「五線譜に親しもう」と題して講演しました。大阪音楽大学でも講義していることもあり邦楽人にもぜひ知っていて欲しい五線譜の基礎が解説されました。



星田一山氏

まず、箏、三味線、尺八に五線譜は古典では必要ないが現代曲ではある程度の知識が必要なこと、特に洋楽系の作曲家の曲を理解するうえでは必須となることが力説されました。

つぎに五線譜の理解度はどのレベルまで必要かが解説されました。その中で6/8は約分しないこと(笑い)、pはピーではなくピアノと読むこと、ritは必ずrit.と点を

付けること、ト音記号は第二線がトであること、二重付点四分音符の長さ、ある流派の一部には付点四分音符を半加四分音符と言う場合があることなどが話され学生の気持ちがわかる緊張した講義となりました。

実際の演奏では、箏、三味線の場合は楽譜を見て調弦を決めるこ

と、三味線はある音を二の絃で弾くか三で弾くかという判断、つまり音色を重視するか手順に重きをおくか、尺八では調号を見て何寸管で演奏するかなどの判断が求められます。

二つ目は谷垣千鶴氏が「インターネット活用術」について講演しました。メール、メーリングリスト、ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック、スカイプなどがどの様なものか、何ができるのか、邦楽や音楽で、どの様な活用法があるのかが紹介されました。

最後に、講習後本会顧問の高橋明邦氏がご自身の体験を交えて、なぜ邦楽分野で仕事をする様になったのかを日本人としてのアイデンティティーの面から述べられたのが印象深かったです。

その後、その場を懇親会会場として、親好を深めました。

(広報担当 高橋哲也)



大学の授業の様な和気藹々とした講演

IT活用事例(織座の場合)



谷垣千鶴氏による
IT活用事例紹介(関西交流会で)

ネット利用方法を東京講習交流会での織座の資料を中心に紹介します。

第一に織座内外との連絡に利用しています。第二に、文書ファイルや音源ファイル等を共有することで、各自が活動や練習に役立てることができます。ただし、音源等の著作権には十分に留意する必要があります。共有の道具としては「DropBox」が有効。第三に「Skype」を電話会議で利用しています。テレビ電話なので資料を画像で紹介できます。第四にコミュニケーション手段として「FaceBook」を利用しています。Mixiなど他のソーシャルネットワークも有効です。第五に調べ物にネットを使います。邦楽全般には「邦楽Wiki」が、曲の編成を調べるには「現

代邦楽データベース」が有効です。第六に演奏会の宣伝には「和ネット」を使います。また、後援、助成事業などの検索・申請にもネットで行えます。全奏協サイトも充実させていけば、邦楽分野での牽引サイトとなることが期待できます。

筆者は地方在住なので、CD、楽譜等が手に入り辛いです。そこで、邦楽ジャーナル、インターネットオークション、楽天、アマゾン等で購入し、新生銀行、楽天銀行、ジャパンネットバンク等ネット銀行での送金、振り替を利用しています。セキュリティーの関係もあり信用できるサイトでの購入をお勧めします。

(広報担当 高橋哲也)

全国邦楽合奏フェスティバル

2012年9月15～16日徳島県阿南市の阿南文化会館夢ホールを中心に全国邦楽合奏フェスティバルが開かれます。全国から流派、地域を越えて演奏、ワークショップ、講演、展示イベントに邦楽愛好者が集います。

2007年の徳島県国民文化祭をきっかけに全奏協が昨年、発足しました。これは全奏協が発足後初めて手がける大きなイベントです。その中心となる企画が全國の邦楽愛好者が集い演奏を披露する全国邦楽合奏フェスティバル



です。日頃一緒に練習している合奏団がその腕前を披露します。また、個人参加できる演奏曲も用意されています。曲目は「巨火(ほて)・第3楽章」(三木稔作曲)、「童夢」(吉崎克彦作曲)です。指揮はそれぞれ高橋明邦氏、山上明山氏です。「巨火」を作曲した故三木稔氏は徳島市出身、昨年、惜しまれつつ他界されました。氏の追善演奏ともなります。是非、多くの邦楽愛好者に参加いただきたいと事務局は言います。

演奏以外にも贅沢な企画が!

【展示】

★ 宇宙箏がやってくる

展示での見どころはなんと言っても宇宙箏でしょう(編集後記参照)。本会田中隆文理事の解説付き。

★ 「遊びながら邦楽を知る」では、検校・虚無僧に変身できる企画も。

★ 徳島市出身で本会顧問の故三木稔氏の軌跡を追う企画を見てから合同演奏曲「巨火(ほて)」を聞いてはいかがでしょうか。

【ワークショップ】

★ 実は9月14日(金)にかなり興味深い演奏会付きの企画があります。「PA(音響)を使用する邦楽ワークショップと癒し音楽」がそれ。遠音の三塙幸彦氏がPAを入れた音楽と生の音楽の違いを解説。透明感のある遠音の楽曲も披露されます。筆者は7月に横浜でPAを使ってギターと遠音の「北飛行」を演奏します。この企画が7月

以前だったら悔やまれます。

★ もう一つ、見逃せないのは「箏マエストロによる青少年のための」野坂操壽氏と沢井一恵氏による「饗宴」の指導と演奏です。50歳代も「青少年」? ちと無理がありそうですね。

★ その他、坂田誠山氏による「尺八ワンポイントアドバイス」も。

★ 三曲樂器以外の琵琶、笙、篠篥の体験もできる「和樂器体験と樂器製作実演」など見逃せない企画が目白押しです。

【講演】

「未来邦楽へ」と題するパネルディスカッションがあります。司会は邦楽ジャーナル編集長の田中隆文氏。「現代邦楽」の先に見える「未来邦楽」とは、邦楽の未来とは何なのかを考えみてはいかがでしょうか。

- 第1回
シニア邦楽コンクール近畿大会の
ご案内
参加者募集中!!
応募受付 4月9日～5月9日まで
1 開催日時 平成24年7月14日(土)
2 開催場所 大阪市立阿倍野区民センター 小ホール
3 募集楽器 尺八・箏・三昧線
4 開催部門 独奏部門 合奏部門
5 主催:全奏協

～2012年度総会は6月10日です

惜別

2011年12月8日、本会顧問の三木稔先生がお亡くなりになりました。11日のお通夜12日の告別式に行ってきました。雲ひとつないすばらしい青空の日、笑顔の写真、スイスの草原をバックにした三木先生のおだやかなお顔が印象的でした。

お通夜には400人あまり、告別式は150人から200人くらいの方が参列されていました。三木先生は郷土徳島の誇りであり、知事もかけつけられました。今更ながら偉大な音楽家であったと残念に思います。

三木先生は常常々「アマチュアの合奏団協議会を立ちあげなくてはいけない!」とおっしゃっていました。その強い思いが私を振り動かし、全奏協立上げの決心をさせました。

「三木先生、心よりご冥福お祈りいたします。」

NPO法人全国邦楽合奏協会理事長 藤本 玲

編集後記

先日「なんでも鑑定団」(TV東京系)で山崎直子宇宙飛行士の時計が出ました▼希少性以外に宇宙関連のお宝の多くは容積が重要な要素となります。容積に比例して宇宙への運搬料が加味されるからです▼もし時計でなく山崎飛行士とともにシャトルで飛んだ宇宙箏だったら数百万円はするだろうとの鑑定士の言葉に我が耳を疑いました▼その姉妹箏の一つが徳島に来ます。音を聴くだけでなく実物の写真を高画質で撮りたいのために骨董的価値の全くない中古デジタル一眼を1万5千円で落札してしまいました。使用上限の8ギガバイトのメモリーをカメラに挿入。一番良い画質で1900枚もの撮影ができるのにびっくり▼徳島でこいつをコキ使ってやるぞ(れんかい)

全奏協通信

NPO法人全国邦楽合奏協会(全奏協)

info@zensokyo.org

徳島県徳島市問屋町43
〒770-8056
全奏協本部事務所
Tel&Fax 088-655-7066